

Domaine Dureuil-Janthial

ドメーヌ デュルイユ ジャンティアル

リュリーで最も古い歴史を持つ自然派ドメーヌ

コート・シャロネーズ地区のリュリー村に本拠地を構えるデュルイユ・ジャンティアルは、この村で最も古い家族経営のドメーヌの1つで、その歴史は13世紀に遡ります。1994年に現当主のセリーヌとヴァンサン・デュルイユがドメーヌを受け継ぎました。総面積約20ヘクタールの自社畑は、コート・シャロネーズ地区を中心に、コート・ド・ボアス、コート・ド・ニュイを含め約20以上のアペラシオンに跨ります。2001年から農薬の使用を止め、2008年までに自社畑の実質60%を有機栽培へ切り替え、月の満ち欠けに合わせた栽培・瓶詰を実践。2009年より、エコセールから正式に有機栽培認定を受けています。

デュルイユのワイン造りは、葡萄畑に始まります。毎年7月中旬頃までに土壌を掘り起こし耕作することで、土に空気を入れ、雑草を取り除きます。この他、必要であれば新芽や葉の摘み取りを行って適度に収量制限を行うことで、湿気を軽減し、病気やカビの発生を防いでいます。収穫は、葡萄が十分に熟のを待ってから全て手作業で摘み取り、ピュアな果実味に心地よいミネラル感、程良く良質な酸を湛えた美しく引き締まったハリのあるスタイルに仕上がっています。

■2021年ヴィンテージ情報■

《ワインアドヴォケート誌 2023年10月20日掲載記事より抜粋/記者:ウィリアム・ケリー》

昨年も書いたように、ワインに関する記事で「タレント(才能)」という言葉あまりにも多く目にする。確かにデュルイユには才能があるが、非常に勤勉で、また常日頃から上質なワインを嗜む経験豊富なテイスターでもある。それゆえに彼のワインは非常に素晴らしい。本誌のレビューがきっかけになったかもしれないが、ドメーヌ・デュルイユ・ジャンティアルがブルゴーニュの高評価生産者として称賛されるのは、時間の問題だった。2021年の成功により、デュルイユの地位は揺るぎないものとなった。ブラインドテイastingをすれば、非常に恵まれた生育期の果実から作られたかと思ってしまうような仕上がりだ。壊滅的な春霜の影響を受け、収量が非常に少なかったため、通常は別々に瓶詰するリュリー・ディのワインをブレンドする必要があった。そうした状況下でもクラシックなスタイルは健在で、深く感動させられるワインであった。

■テクニカル情報■ ドメーヌ所在地: フランス東部ブルゴーニュ地方コート・シャロネーズ地区リュリー村
畑の総面積: 20ha 所有アペラシオン: 20箇所 栽培: 有機栽培(2009年~2016年有機栽培認証取得)
土壌: 主に粘土・石灰岩質

【白ワインの醸造】 醸造: 手摘みで収穫し、破碎せず直接圧搾。48時間デブルバージュさせた後、樽に移してアルコール発酵させ、12ヶ月熟成、6ヶ月ステンレスタンク熟成。月の暦に合わせて瓶詰。

【赤ワインの醸造】 醸造: 手摘みで収穫し、振動する選果台を2台使って選果・除梗し(年によっては除梗せず)、円錐台形の木桶で1週間低温マセレーション。ルモンタージュ、ピジャージュは必要に応じて行う。新樽率20~30%の樽でマロラクティック発酵・12ヶ月樽熟成、ステンレスタンクで6ヶ月熟成。月の暦に合わせて瓶詰。



~White Wine~

2021 Rully Blanc

上代価格 ¥9,500 (税別)

リュリー ブラン

JAN: 4543190180559

リュリー・ブランは、リュリー南部のグレンシーというクリマに属する複数の区画から収穫しています。畑の下層土は粘土石灰岩質で小石を多く含み、朝日が豊かに降り注ぐ東向きの斜面を持ちます。

【辛口/白】 産地: コート・シャロネーズ地区リュリー南部(AOCリュリー) 品種: シャルドネ 100%
畑面積: 3.3ha 植樹: 1949年、2007年 醸造: 新樽率 20%

★パーカーポイント 90点: 爽やかな洋ナシ、黄色のリンゴ、桃、ナツメグの香りを纏ったふくよかでキレのあるミディアムボディ〜フルボディ。肉厚で塩気を帯びた味わい。探してみる価値がある。

《飲み頃: 2023-2035年 | 2023/10/20 掲載》



2021 Rully Blanc 1er Cru Le Meix Cadot

上代価格 ¥11,500 (税別)

リュリー ブラン プルミエ クリュ ル メ カド

JAN: 4543190180566

メ・カド、ラ・ショーム、ラ・ベルジュリの複数の区画から成るクリマで、アン・ゲンヌと呼ばれる2区画の村名畑の間に位置する一級畑。クリマの名前の由来は、昔の小作地制度にあり、ブルゴーニュ地方で「Meix」は小作地のことを指し、「Cadot」はソーヌ・エ・ロワールで非常によく見られる苗字のため、地主のことを指していると考えられます。この区画から採れるシャルドネは、ストレートで張りのある味わいの白ワインを生みます。

【辛口/白】 産地: コート・シャロネーズ地区リュリー中心部(AOCリュリー・プルミエ・クリュ) 品種: シャルドネ 100%
畑面積: 1ha 植樹: 1975年 土壌: 粘土・石灰岩質 醸造: 新樽率(シャサン社の樽) 20%

★パーカーポイント 93点: 非常に良い出来映えで、ヴィンテージ由来の緊張感がこの土地が持つ豊かさとうまく調和している。ミディアム〜フルボディで洋ナシやピーチ、白い花、ナツメグのアロマを持つ。《飲み頃: 2025-2045年 | 2023/10/20 掲載》



2021 Puligny Montrachet Corvée des Vignes

上代価格 ￥19,000 (税別)

ピュリニイ モンラッシェ コルヴェ デ ヴィーニュ

JAN: 4543190180573

【辛口/白】 産地:コート・ド・ボーヌ地区ピュリニイ・モンラッシェ北部(AOC ピュリニイ・モンラッシェ・ヴィラージュ)
品種:シャルドネ 100% 畑面積:0.39ha 植樹:1956 年、1958 年 土壌:粘土質 畑:ムルソー側の日照量の多い、
早熟な区画 醸造:新樽率 (シャサン社の樽)20%

★パーカーポイント92点:2021年のピュリニイ・モンラッシェ・コルヴェ・デ・ヴィーニュも見事な出来で、洋ナシや青リンゴ、焼きたてのパン、ナツメグ、蜜蝋、オレンジオイルの香りが広がる。ミディアム〜フルボディ。ふくよかで、サテンのような滑らかな質感の味わいは、深みと凝縮感があり、キビキビとした酸を持つ。緻密な後味が長い余韻を生む。ヴィンテージを超越した味わい。《飲み頃:2025-2040 年 | 2023/10/20 掲載》



~Red Wine~

2021 Coteaux Bourguignons

上代価格 ￥5,000 (税別)

コトー ブルギニオン

JAN: 4543190180528

【辛口/赤】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー東部(AOC コトー ブルギニオン)
品種:ピノ・ノワール 90%、ガメイ 10% 畑:ドメーヌ近くのリュリー村東部のリュリー・ディ・モドルー 畑面積:0.5ha
植樹:1970 年 土壌:粘土質 醸造:新樽率 20%

■コメント■ 赤いベリー系果実やクロブ、花びらのアロマが香り立つ。生き生きとしたジューシーなミディアムボディで、瑞々しい果実味と程良いタンニンが特徴。



2021 Bourgogne Rouge

上代価格 ￥7,000 (税別)

ブルゴーニュ ルージュ

JAN: 4543190180535

【辛口/赤】 産地:コート・シャロネーズ地区(AOC ブルゴーニュ) 品種:ピノ・ノワール 100%
畑:プリモ・プリセイ村(面積:0.5ha/植樹:1969~2004 年/粘土質)、ピュリニイ・モンラッシェ村(面積:0.4ha/植樹:1968 年/粘土質) 醸造:新樽率 33%

2020VT★パーカーポイント89点:プラム、スパイス、バラの花びら、ローム層の土壌の魅力的な香り。生き生きとした快活な味わいのミディアムボディで、ピリッとした酸、とろけるようなタンニンがある。デュルイユの素晴らしい入門編ワイン。《飲み頃:2022-2033 年 | 2022/8/26 掲載》

2020VT 他誌評価:★バグハウンド 86 点



2021 Rully Rouge

上代価格 ￥9,500 (税別)

リュリー ルージュ

JAN: 4543190180542

【辛口/赤】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー村(AOC リュリー) メ・カド(一級畑)、アン・ロゼイ、モンターニュ・ド・ルムノの 3 区画より収穫されたブドウを使用 品種:ピノ・ノワール 100%
畑:メ・カド(面積:1.3ha/植樹:1978 年/粘土質) アン・ロゼイ(面積:1ha/植樹:1974 年/粘土石灰岩質)
モンターニュ・ド・ルムノ(面積:0.3ha/植樹:1980 年/石灰質) 醸造:新樽率 33%

2020VT★パーカーポイント90+点:チェリー、スモーキーなベリー、エキゾチックなスパイス、ローム質土壌の香りに生カカオのニュアンスが感じられる。生き生きとしたミディアム〜フルボディで、ピリッとした酸、熟したタンニン、塩気のあ
る長い余韻があり、この暖かなヴィンテージの中でも非常にダイナミックな味わいを持つ。少なくとも5年は熟成させて、
花開いていく様子を見守りたい。《飲み頃:2025-2045 年 | 2022/8/26 掲載》

2020VT 他誌評価:★バグハウンド 87 点

